

JIS

UDC 681.327.44

~~E-6246~~
X 6492

情報交換用紙テープの孔の位置と寸法

~~JIS C 6246-1971~~

(1980 確認)

X 6192 - 571

昭和 46 年 3 月 1 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

情報処理部会 紙テープ専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	窪田 啓次郎	成蹊大学工学部
	元岡 達	東京大学工学部
	関山 吉彦	通商産業省重工業局
	中川 隆	工業技術院標準部
	林 智彦	日本電信電話公社電気通信研究所
	坂田 龍範	日本国有鉄道電気局
	和田 太作	国際電信電話株式会社研究所
	中村 有光	日本放送協会技術本部
	永井 勇一	株式会社巴川製紙所生産部
	梶 正明	日本電気株式会社
	飯島 一憲	株式会社日立製作所戸塚工場
	中川 允男	谷村株式会社新興製作所
	松永 一雄	財団法人日本電子工業振興協会開発部
	安達 弘	日本アイ・ビー・エム株式会社データ通信部
	西岡 英也	黒沢通信工業株式会社技術部
	飛田 浩美	沖電気工業株式会社高崎事業所
	樫田 計三	東京芝浦電気株式会社青梅工場
中西 司	三菱電機株式会社鎌倉製作所	
(事務局)	安武 昭彦	工業技術院標準部電気規格課
	伊関 晴	工業技術院標準部電気規格課

主務大臣：通商産業大臣 制定：昭和 46. 3. 1 確認：昭和55. 4. 1

官報公示：昭和55. 5. 8

原案作成協力者：社団法人日本電子工業振興協会

審議部会：日本工業標準調査会 情報処理部会（部会長 野田 信夫）

審議専門委員会：紙テープ専門委員会（委員長 窪田 啓次郎）

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部電気規格課（〒100 東京都千代田区霞が関1丁目3-1）へ連絡してください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

情報交換用紙テープの孔の位置と寸法 C 6246-1971

(1980 確認)

Dimensions for Punched Paper Tape for Information Interchange

1. 適用範囲 この規格は、JIS C 6243 に規定する情報交換用紙テープ（以下紙テープという。）に穴あけられる孔の位置およびその寸法について規定する。
2. 用語の意味 この規格で用いるおもな用語の意味は、つぎのとおりとする。
 - (1) 繰出し孔 紙テープの繰出し用などのために長手方向に連続して穴あけられる孔をいう。
 - (2) 情報孔 紙テープに情報を記録するために穴あけられる孔をいう。
 - (3) 情報孔トラック 紙テープの長手方向に穴あけられる情報孔の列をいう。
 - (4) 基準線 第1トラックのある側の線をいう（図1参照）。
 - (5) 情報孔の列の並び 紙テープの幅方向に並んだ1列の情報孔について、繰出し孔の中心を通り基準線に垂直な直線に対する各情報孔の中心位置の偏差をいう。
3. 種類 紙テープの種類は、JIS C 6243 に規定する6単位紙テープ、8単位紙テープの2種類とする。
4. 孔の位置および寸法 紙テープの孔の位置および寸法は、表1および図1のとおりとする。

表 1

単位 mm

項目	記号	寸法	種類
繰出し孔中心線と基準線の間隔	a	11.15 ± 0.10	6単位
		9.96 ± 0.10	8単位
繰出し孔直径	b^ϕ	$1.17 \begin{smallmatrix} +0.05 \\ -0.03 \end{smallmatrix}$	6単位, 8単位
情報孔直径	c^ϕ	1.83 ± 0.05	6単位, 8単位
情報孔トラック位置	d_3, d_4	2.54 ± 0.05	6単位, 8単位
	d_2, d_5	5.08 ± 0.05	
	d_1, d_6	7.62 ± 0.05	
	d_7	10.16 ± 0.05	8単位
	d_8	12.70 ± 0.05	
情報孔の列の並び	e	± 0.08	6単位, 8単位
繰出し孔ピッチ	f	2.54 ± 0.08	6単位, 8単位
累積ピッチ誤差	g_1	10ピッチに対し ± 0.25	6単位, 8単位
	g_2	50ピッチに対し ± 0.63	

関連規格：JIS C 6243（情報交換用紙テープ）

JIS P 8111（試験用紙の前処置）